

1. 科目名 (単位数)	社会・集団・家族心理学 (社会・集団) ／社会心理学 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP2113
2. 授業担当教員	新井 洋輔		
4. 授業形態	講義・演習(ディスカッション・フィールドワークを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「心理学入門」「心理学概論」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	<p>人は他者と関わり、集団に所属しながら生活している。そして人は、他者や集団や社会から様々な影響を受けると同時に、自らも対人関係や集団に影響を及ぼしている。社会心理学は、社会学と心理学の境界領域にあたる学問領域であり、人と他者・集団との関係の中で、人の態度や認知に表れるさまざまな変化を明らかにすることを主なねらいとしている。</p> <p>本科目では、社会心理学の主要な研究分野である自己、対人認知、対人関係、集団等の心理について、基礎的な知見を学習するとともに、現代社会における諸現象について、社会心理学的視点から読み解いていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学における社会心理学の位置づけについて理解し、説明することができるようになる。 2. 社会心理学における主要トピックスの要点を理解し、説明することができるようになる。 3. 日常生活や社会現象について、社会心理学で提唱されている理論を用いて考察できるようになる。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	予習課題や探求的な課題に積極的に取り組み、主体的な学習によって理解を確かにすると共に問題解決力を培うように努めること。詳細は講義の中で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】吉田俊和・元吉忠寛『体験で学ぶ社会心理学』ナカニシヤ出版。</p> <p>【参考書】山田一成・結城雅樹・北村英哉『よくわかる社会心理学』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学における社会心理学の位置づけについて理解し、説明できるようになったか。 2. 社会心理学における主要トピックスの要点を理解し、説明できるようになったか。 3. 日常生活や社会現象について、社会心理学で提唱されている理論を用いて考察できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>学則で決められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度点(ディスカッションへの参加状況、遅刻欠席居眠り私語の状況)30%、小テスト・課題レポート・期末テスト70%の合計得点により、成績を評価する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本講義の受講に関する取り決めを行いますので、第一回の講義には必ず出席してください。</p> <p>社会心理学は、これまでに蓄積されてきた研究知見を、日常生活や社会活動に直接応用しやすい分野です。講義の内容から、自分自身や周囲の人々を理解し、今後の社会生活や問題解決の糸口を探る視点を獲得できるよう、積極的に取り組んでください。</p> <p>内容に関する疑問については、質問を歓迎します。わからない点は放置せず、積極的に質問してください。遠隔講義の場合や、皆さんの理解度やワークの進捗状況に応じて、講義内容を変更する場合があります。教科書のワークと受講態度・毎回の課題への積極的な取り組みを評価しますので、授業内容に関連しない私語・居眠りや携帯電話の使用、欠席・遅刻・早退、教科書の不携帯は減点の対象となります。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で提示する。来室相談を希望する場合は、yoarai@ed.tokyo-fukushi.ac.jp宛に、一週間前までに「授業名・クラス・学籍番号・質問の概要」を記載したメールで予約をとること。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス：社会心理学とは	事前学習	心理学概論・入門の内容の復習。
		事後学習	社会心理学の位置づけの確認。
第2回	社会心理学の研究方法及び研究領域	事前学習	心理学概論・入門の内容の復習。
		事後学習	社会心理学の位置づけの確認。
第3回	自己	事前学習	自己概念に関する心理学入門の復習。
		事後学習	20 答法に関する内観と考察。
第4回	自己	事前学習	他者と関わるとき自分のクセについて考えておく。
		事後学習	自己呈示と印象形成についてまとめる。
第5回	対人認知	事前学習	初対面場面で自分は他者のどの側面に注目しやすいか考えておく。
		事後学習	印象形成研究の知見をまとめる。
第6回	ステレオタイプ1：ジェンダースtereotype	事前学習	「A B 型の人」「弁護士」に対して持っているイメージを文章化しておく。
		事後学習	自分のジェンダースtereotypeを内観。
第7回	ステレオタイプ2：職業ステレオタイプ	事前学習	職業ステレオタイプに関するワークの準備。
		事後学習	職業ステレオタイプの強い職業について考察。
第8回	ステレオタイプ3：維持メカニズム	事前学習	血液型ステレオタイプについて内観。
		事後学習	維持メカニズムについて整理。
第9回	判断と意思決定1：フレーミング効果	事前学習	教科書 p.35 のワークに取り組む。
		事後学習	自作したフレーミング問題の精度を上げる。

第10回	判断と意思決定2：アンカリング効果	事前学習	意思決定の操作について考察。
		事後学習	セールスにおけるアンカリングについて考察。
第11回	原因帰属	事前学習	原因を推論するクセについて考察。
		事後学習	ANOVA モデルについて整理。
第12回	自己奉仕的バイアス	事前学習	教科書 p. 22 の課題に取り組む。
		事後学習	自分の自己高揚・防衛的バイアスについて考察。
第13回	人間関係1：対人魅力	事前学習	心理学入門における対人魅力と親密化を復習。
		事後学習	態度の類似性の効果について整理。
第14回	人間関係2：親密化過程と対人葛藤	事前学習	意見の対立時の自分の行動傾向を内観。
		事後学習	対人葛藤方略のモデルに基づいて再考。
第15回	ストレスコーピング	事前学習	自分のストレス対処方略を列挙。
		事後学習	自分のストレス対処について社会心理学的に考察。
第16回	ソーシャル・サポート	事前学習	自分の利用できるソーシャル・サポートを列挙。
		事後学習	社会的排斥の影響について考察。
第17回	自尊心と幸福感1	事前学習	直近の社会的排斥・拒絶の経験を想起。
		事後学習	p. 81 のワークを完成させる。
第18回	自尊心と幸福感2	事前学習	状態自尊感情と受容・称賛の関係を整理。
		事後学習	講義内のワークを踏まえて状態自尊感情を測定。
第19回	対人コミュニケーション	事前学習	自分が人の話を聞くときの心がけをまとめる。
		事後学習	聴くスキルを踏まえて予習内容を再考。
第20回	ノンバーバル・コミュニケーション	事前学習	p. 117 の課題に取り組んでおく。
		事後学習	課題2の問題を新たに作成して実践する。
第21回	同調1	事前学習	人に合わせなければならない場面について想定。
		事後学習	同調に影響する要因について考察。
第22回	同調2	事前学習	少数派の影響方略について想定。
		事後学習	ビデオ資料内から同調の促進要因を考察。
第23回	権威への服従1	事前学習	p. 85 の実験で、どこまで押されたかを想定。
		事後学習	ビデオ内容を踏まえて結果を予想。
第24回	権威への服従2	事前学習	自分は権威にどう対応するか想定。
		事後学習	実験状況が現実場面ではどこに起きたか考察。
第25回	フォールス・コンセンサス	事前学習	p. 90 の結果を予想する。
		事後学習	想定と実際の結果について考察する。
第26回	責任の分散と傍観者効果	事前学習	p. 106 の事件に類似した日本の事件を調べる。
		事後学習	自分が支援要請する際の方略を考察。
第27回	集団アイデンティティ	事前学習	20 答法における集団への言及を整理。
		事後学習	自分の集団アイデンティティについて考察。
第28回	リーダーシップ	事前学習	「良いリーダーの条件」をまとめておく。
		事後学習	PM 理論に基づいて考察。
第29回	総括 社会心理学	事前学習	これまでの講義内容を復習しておく。
		事後学習	自分のキャリアについて社会心理学的に考察。
第30回	総括 集団心理学	事前学習	これまでの講義内容を復習しておく。
		事後学習	自分のキャリアについて集団心理学的に考察。
期末試験			